



群馬県のIR資料

令和4年10月 群馬県総務部財政課



利根川の治水対策・首都圏の水利用の安定化のために建設された「ハッ場ダム」



アニメ『ぐんまちゃん』
©群馬県 ぐんまちゃん

目次



Section1. 2040年の群馬県の目指す姿を描いた「新・群馬県総合計画」

- 新・群馬県総合計画とは？ 3
- 足下の取り組みの事例 4

Section2. 財政状況と行政改革の取り組み

- 令和4年度群馬県当初予算 6
- 令和4年度一般会計当初予算(歳入) 7
- 令和4年度一般会計当初予算(歳出・性質別) 8
- 普通会計の決算収支 9
- 公債費及び投資的経費の推移 10
- 県債新規発行額と残高の推移 11
- 減債基金への積立て・行政改革の取り組み 12

Section3. 主な財政指標の状況

- 財政健全化法に基づく財政指標の推移 14
- 将来負担比率と実質公債費比率(令和2年度決算) 15
- 財政指標の推移 16
- プライマリーバランスの推移(決算ベース) 17

Section4. 公営企業・地方公社等について

- 公営企業会計の決算状況 19
- 地方三公社の決算状況(住宅供給公社) 20
- 出資法人の状況 21

Section5. 市場公募債発行計画

- 令和4年度市場公募債発行計画 23
- 群馬県の起債運営について 24

Section6. 県の概要、経済の状況

- 群馬県の人口と強い経済 26
- 群馬県の恵まれた自然条件 27
- 東北～九州、太平洋～日本海を結ぶ交通の結節点 28
- 群馬県の産業構造 29
- 群馬県の魅力あふれる観光資源 30
- お問い合わせ先 31

Section 1.

2040年の群馬県の目指す姿を描いた 「新・群馬県総合計画」

- 新・群馬県総合計画は県政を運営するための基本方針となるものです。
- 県総合計画は2040年の目指す姿を描いた「ビジョン」と、これを踏まえて、2030年までに重点的に取り組む具体的な政策を体系化した「基本計画」の二段階で策定しています。



GVISION2040
新・群馬県総合計画



[ポータルサイト]

新・群馬県総合計画とは？



2040年の
ビジョン

年齢や性別、国籍、障害の有無等にかかわらず、すべての県民が、誰一人取り残されることなく、自ら思い描く人生を生き、幸福を実感できる自立分散型の社会

実現へのロードマップ 2040年のビジョンから逆算して、いま、何を目指すべきか？

A 日本最先端クラスのデジタル県へ [2023年までの重点政策]

- 喫緊の課題は、コロナが必要さを浮き彫りにしたデジタル化。
- 現状を挽回すべく、一気に取組を進め、2023年までに、**日本最先端クラスのデジタル県**となることを目指します。

デジタル人材&企業の
県内誘致

例) デロイト、ミシュラン...

県内 "始動人" の独自の感性

例) GIA、群馬高専



B 県民の命に関わる安全確保 [2025年までの重点政策]

- コロナでさらに注目を集めた医療の提供体制。気候変動の影響により、激甚化、多発化する自然災害。
- **県民の命に関わる安全確保の体制を万全に整えます。**

災害データが示す安全性

首都機能バックアップ拠点

快疎空間と
大規模接種センター

感染症パンデミック対応拠点

被害 (少)	順位	都道府県	罹災世帯数
	1	群馬県	464
	2	神奈川県	3,109
	3	東京都	3,292
	4	埼玉県	6,132
	5	栃木県	9,991
	6	千葉県	25,653
	7	茨城県	37,007
被害 (多)			

出典: 消防白書(消防庁) H23~R2

罹災世帯の少なさ

過去10年、関東1位

自然災害リスクの低さ

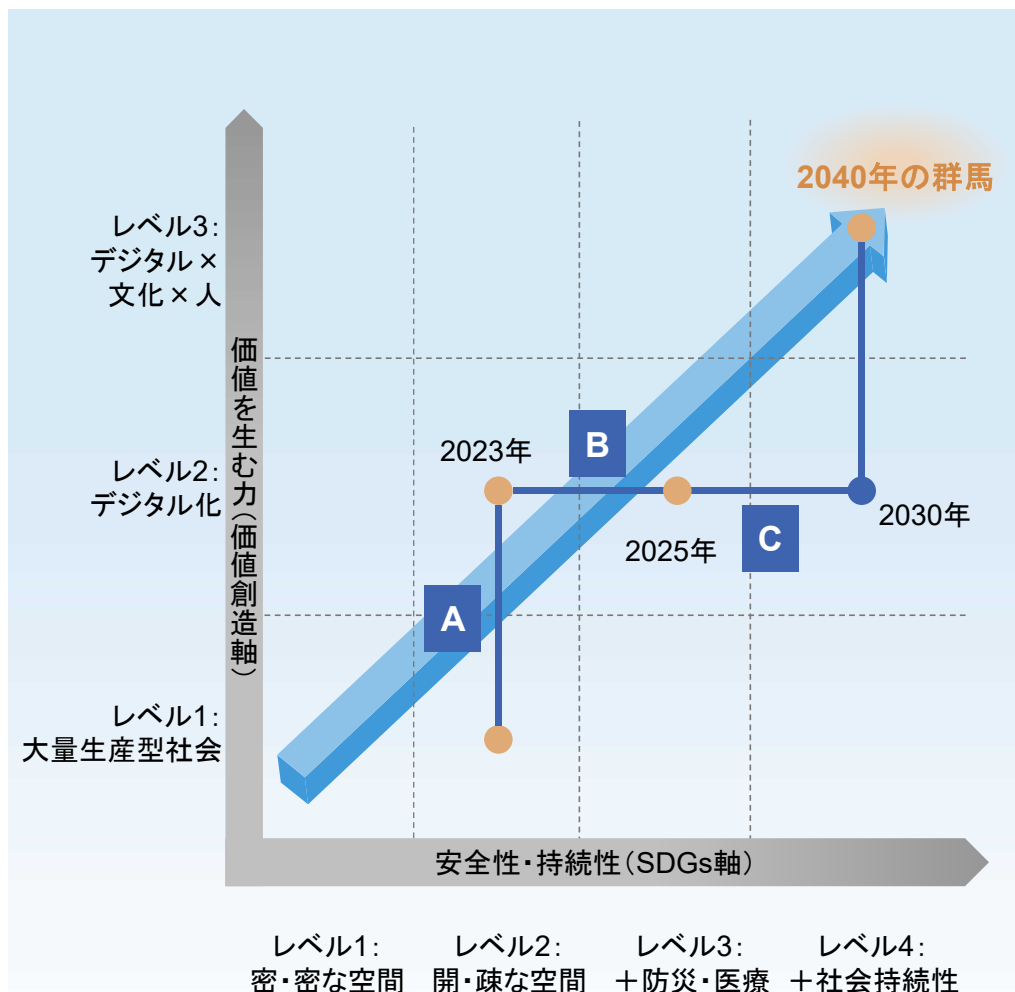
全国5位

地震の少なさ

震度4以上、
関東甲信越で最小

C 持続可能な自立分散型の地域社会確立 [2030年までの重点政策]

- **長期持続性**の3つの柱(県民総活躍・地域経済循環・官民共創)を**確立**。
- 国連がターゲットとする2030年には、県内SDGsの完了を宣言します。



足下の取り組みの事例



ぐんま5つのゼロ宣言

持続可能な社会を構築するとともに、県民の幸福度を向上させるため、2050年に向けて、以下の5つの「ゼロ」実現を目指す

2050年に向けた「ぐんま5つのゼロ宣言」

- 宣言1 自然災害による死者「ゼロ」
- 宣言2 温室効果ガス排出量「ゼロ」
- 宣言3 災害時の停電「ゼロ」
- 宣言4 プラスチックごみ「ゼロ」
- 宣言5 食品ロス「ゼロ」

群馬県多文化共生・共創推進条例

「魅力あふれる、持続して発展する群馬県」、「国籍や民族等にかかわらず誰もが幸福を感じることもできる社会」の実現を目指し、多文化共生・共創社会の形成の推進についての基本理念を定めた条例を制定

ぐんまパートナーシップ宣誓制度

「一方又は双方が性的マイノリティである2人の者が互いの人生において、互いに協力して継続的に生活を共にすることを約した」ことを宣誓することで、公営住宅の入居の申し込みや医療機関での家族同様の面会等の際に利用できる宣誓カード等を交付

インターネット上の誹謗中傷等の被害者支援等に関する条例

誰もがインターネットの恩恵を享受できる、安全で安心な社会の実現を目指し、インターネット上の誹謗中傷等により被害を受けた方に寄り添い、被害者の視点に立った支援を行うとともに、県民が正しくインターネットを活用する知識と能力を身に着けるための、県の責務と県民の役割を明示

県庁32階動画・放送スタジオ tsulunós(ツルノス)



- 広報を通じて県民サービスを向上させるとともに、県外、国外へと群馬の魅力をアピールする動画コンテンツを創出
- 職員が動画の「企画」「撮影」「編集」を行い、ローコスト・タイムリーに情報を発信
<tsulunósポータルサイト>
<https://tsulunós.jp/>

県庁32階官民共創スペース NETSUGEN(ネツゲン)



- 新たなビジネスや地域づくりにチャレンジする人などが集まるイノベーション創出拠点として、コワーキングスペース、セミナー実施スペースを設置
- この拠点を核として、解決すべき地域課題や人材、デジタル技術、知識などが集まりつながることで、社会の変革へつながる好循環を形成

tsukurun(ツクルン) -GUNMA CREATIVE FACTORY-



- 小中高生が、最先端のデジタル機材やソフトウェアで創作活動(3DCG、VRなど)できる全国初の施設として、前橋駅北口に設置
- デジタル技術を駆使しながら、新しい価値を生み出す、次世代で活躍するデジタルクリエイティブ人材を育成

Gメッセ群馬 (群馬コンベンションセンター)



- 高崎駅東口から約1.1kmに位置する展示施設と会議施設が一体となった施設。国際会議や大規模展示会、1万人規模のライブなどが開催可能
- 県内最大規模の県有施設として、大規模ワクチン接種センター等としての活用も可能

Section 2.

財政状況と行政改革の取り組み

- 昭和32年以降、64年間連続で黒字決算となり、安定した財政運営を実施
- 臨時財政対策債を除く県債残高は、平成14年度をピークに減少傾向
- 新たな行政施策にしっかりと対応できる体制をつくるため、行政改革を推進



草津温泉

自噴する温泉としては、日本で一番の湧出量を誇ります。
街の中心にある湯畑は草津のシンボルとなっています。

令和4年度群馬県当初予算



新型コロナ克服＋新展開実現予算

～ 困難を乗り越えて、飛躍を目指す!! ～

基本方針

- 新型コロナから県民の命と健康、暮らしを守ることが最優先
- その上で、「新たな展開のスタートの年」、「飛躍への新たな一歩を踏み出す年」に

重点施策

1 コロナの当面の危機を突破し、長期戦を戦い抜く

2 Next Leap 2022 ～飛躍への新たな一歩～

3 財政の健全性の確保

特徴的な施策

感染拡大防止、医療・検査体制の充実

- ワクチン接種の促進
予算額：26億円



- 医療提供体制等の確保
予算額：721億円

経済活動への支援

- 制度融資 融資枠：1,600億円
- ストップコロナ!対策認定制度
予算額：2.6億円

デジタルトランスフォーメーションの推進

- DXの推進
予算額：19.5億円

例) ボランティアマッチングシステム開発



気楽に
ボランティア

生活

教育イノベーション推進

- 教育イノベーション推進体制構築
予算額：0.6億円



グリーンイノベーションの推進

- ぐんま再生可能エネルギープロジェクト
予算額：24億円

目指す姿

資源の循環を織り込んだ
経済社会システム
2050年カーボンニュートラル

脱炭素 + 資源循環

災害レジリエンスNo1の実現

- 防災インフラの整備など
予算額：295.6億円



リトリートの推進

- リトリート環境整備
予算額：2億円

目指す姿

心とカラダをリセットする

「リトリートの聖地」

新たな富や価値の創出

- ぐんまちゃんブランド化
予算額：4.3億円



基金残高の確保

- 当初時点 185億円
(対前年度 +161億円)

県債発行額の抑制

- 当初時点 590億円
(対前年度 ▲529億円)

⇒ 600億円を下回るのは
29年ぶり

県債残高の縮減

- 当初時点 1兆2,782億円
(対前年度 ▲338億円)

⇒ 県債残高が減少するのは
16年ぶり

令和4年度一般会計当初予算(歳入)



- 県税は、法人関係税の増加が見込まれることから、大幅に増加
- 税収増に伴い、実質的な交付税(地方交付税＋臨時財政対策債)は大幅に減少
- 県債は、臨財債の大幅な減及び財源対策的な県債(退職手当債、行政改革推進債)の発行取りやめ等により、大幅に減少

区分		R4年度 当初予算額(億円)	R3年度 当初予算額(億円)	前年度比 (%)
県税		2,580	2,345	110.0
地方消費税清算金		904	892	101.4
地方譲与税		354	240	147.5
地方交付税		1,414	1,323	106.9
国庫支出金		1,647	1,225	134.4
県債		590	1,119	52.7
	臨時財政対策債	215	650	33.1
	財源対策的な県債	0	70	皆減
	その他の県債	375	399	93.9
財政調整基金繰入金		271	121	124.0
その他		427	386	110.7
合計		8,187	7,651	107.0
内訳	自主財源	4,163	3,724	111.8
	依存財源	4,024	3,926	102.5

※: 臨時財政対策債は、地方交付税の不足を補うものとして国から地方団体に発行額が割り当てられ、償還費は後年度の地方交付税に加算される地方債(借入)で、実質的な地方交付税とされているものです

※: 依存財源は地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金、国庫支出金及び県債です

※: 自主財源は依存財源以外の財源です

令和4年度一般会計当初予算(歳出・性質別)



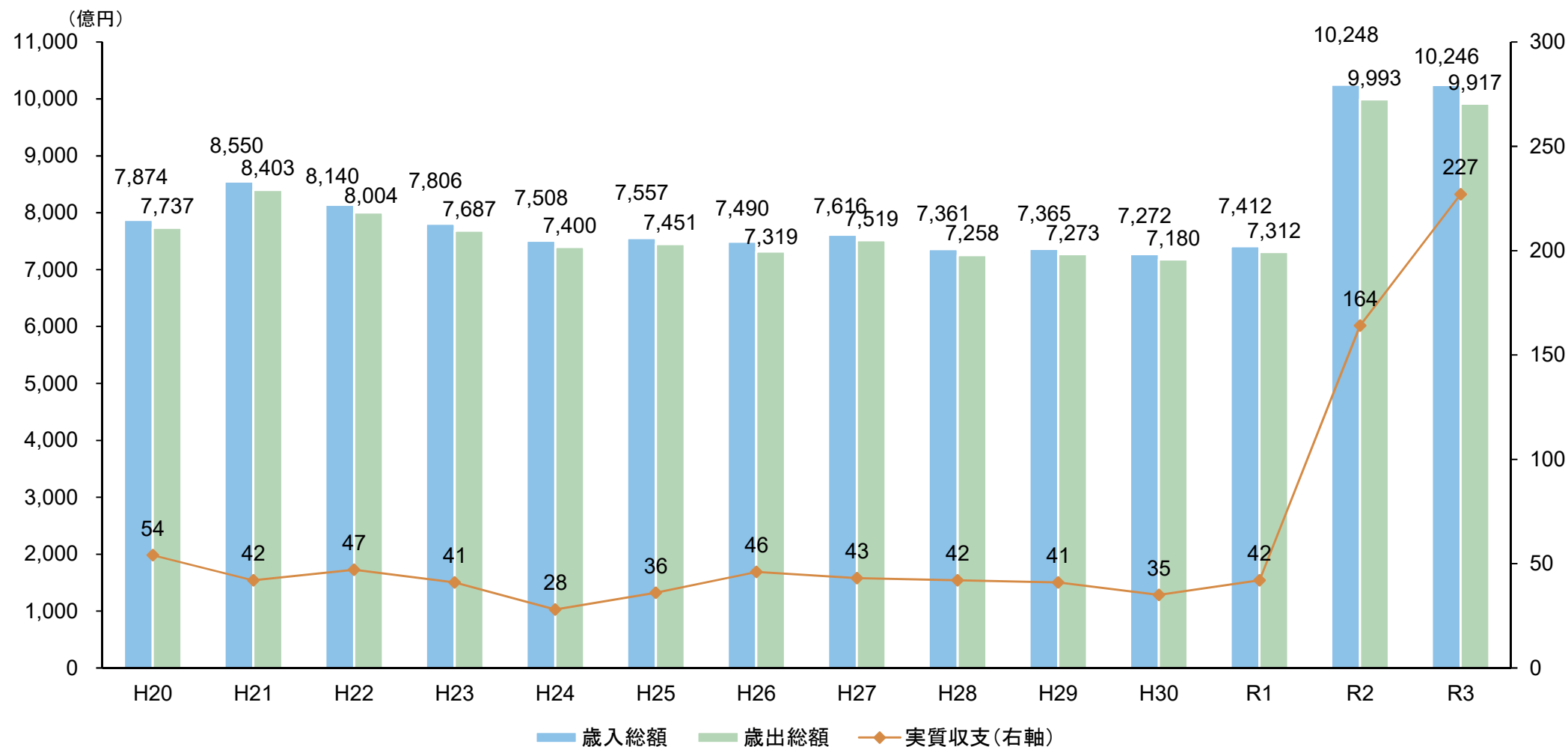
- 令和4年度当初予算規模は、前年度対比7.0%の増
- その他の増は、新型コロナウイルス感染症対策経費の大幅な増加に伴うもの
- 社会保障関係費は、高齢化を反映し、引き続き増加

区分	R4年度 当初予算額(億円)	R3年度 当初予算額(億円)	前年度比 (%)
義務的経費	3,525	3,530	99.9
人件費	2,160	2,173	99.4
退職手当	213	206	103.7
退職手当除き	1,946	1,967	98.9
扶助費	377	360	104.5
公債費	989	997	99.2
投資的経費	895	883	101.3
補助公共事業	550	551	99.8
単独公共事業	203	203	100.0
その他の建設事業	142	129	109.5
補助費等	2,824	2,565	110.1
その他	943	672	140.2
合計	8,187	7,651	107.0
うち社会保障関係費	1,103	1,081	102.0

普通会計の決算収支



- 昭和32年度以降、65年間連続で黒字決算となり、安定した財政運営を実施
- 令和2年度、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症への対応等により、歳入歳出ともに大幅に増加。
- 令和3年度の実質収支は227億円の黒字。(ただし、このうち129億円は国から概算で交付された新型コロナウイルス感染症関連の国庫支出金の事業費確定に伴う不用額であり、令和4年度中に国に返還。)

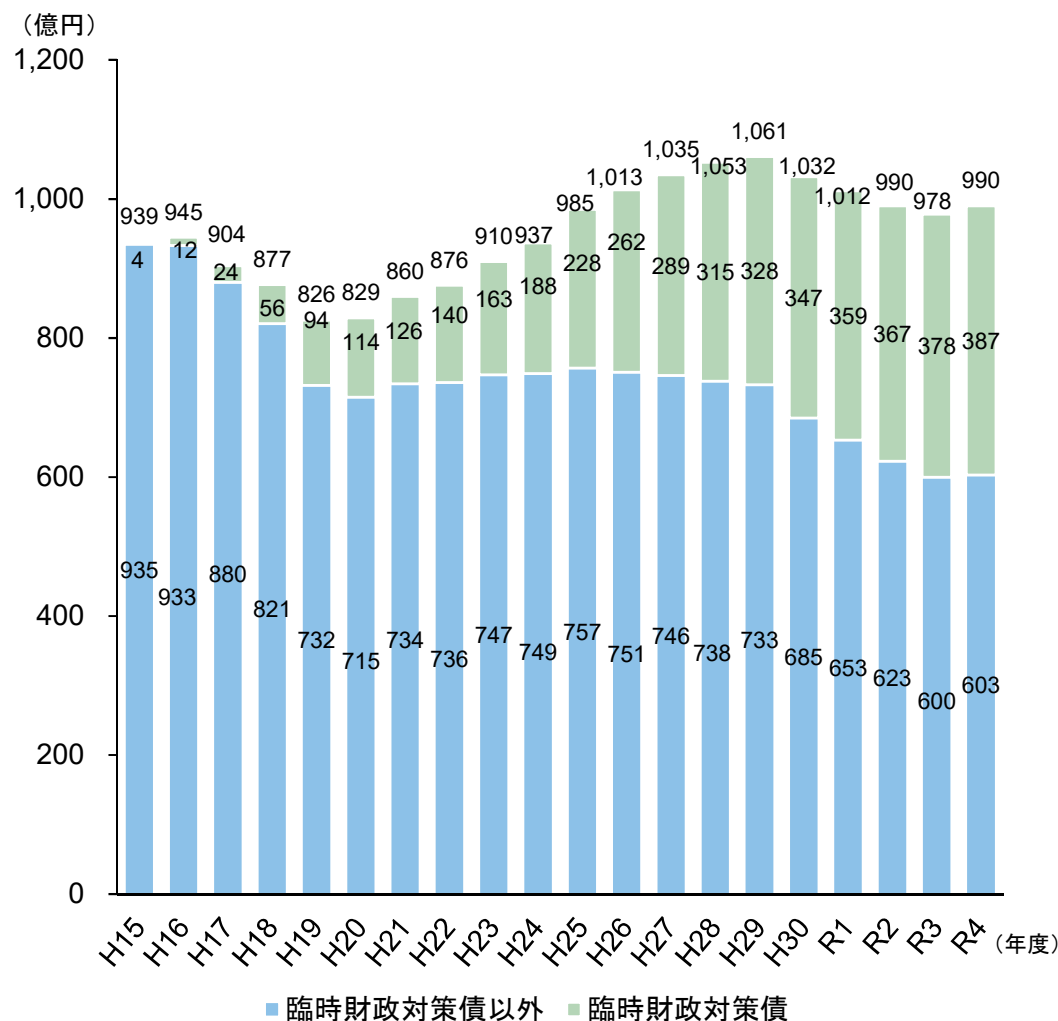


公債費及び投資的経費の推移



公債費

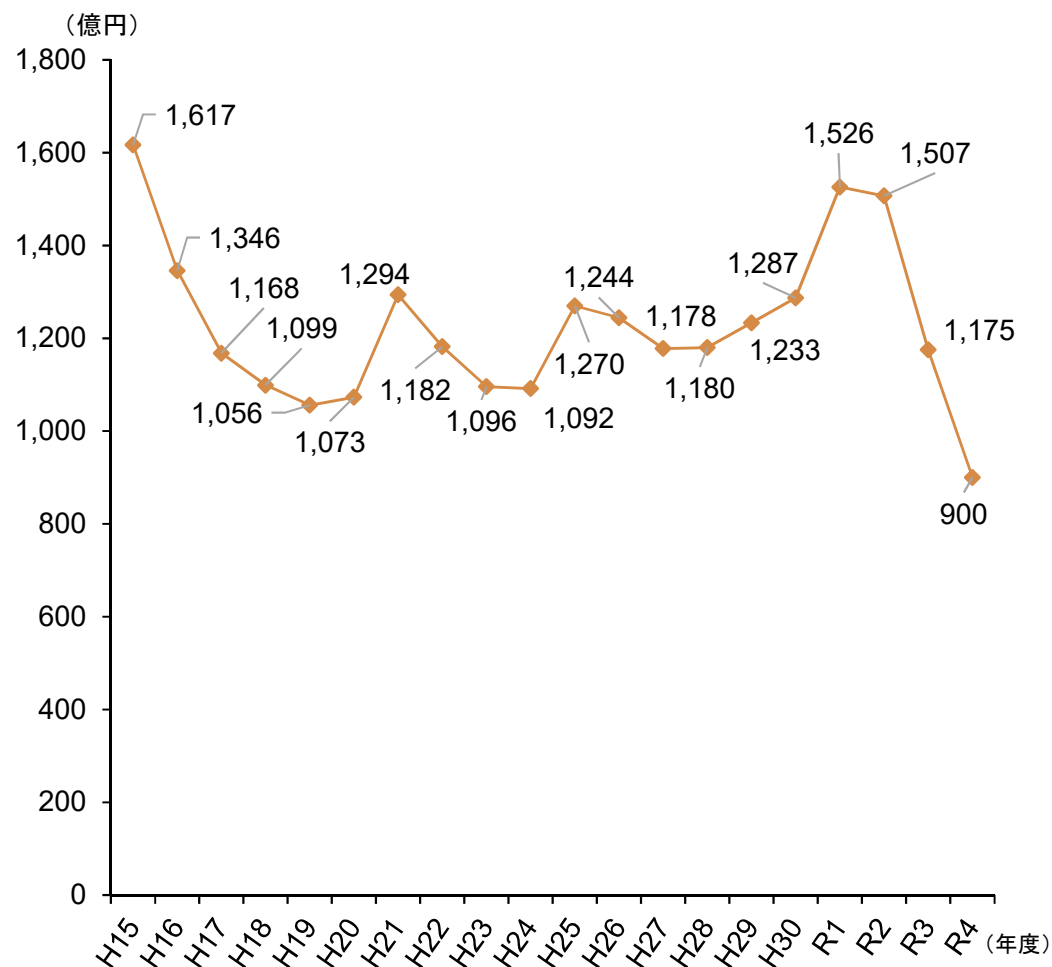
- 臨時財政対策債の償還費が増加する中、償還年限を多様化するなど、戦略的な公債管理を行い、公債費の抑制に向けた取組を実施



※ R3年度まで決算ベース、R4年度は当初予算ベース

投資的経費

- 投資的経費は、防災・減災対策の実施や令和元年東日本台風に伴う災害復旧事業などにより令和元年度、令和2年度は一時的に増加したものの、令和3年度は、公共事業等の抑制により大幅に減少

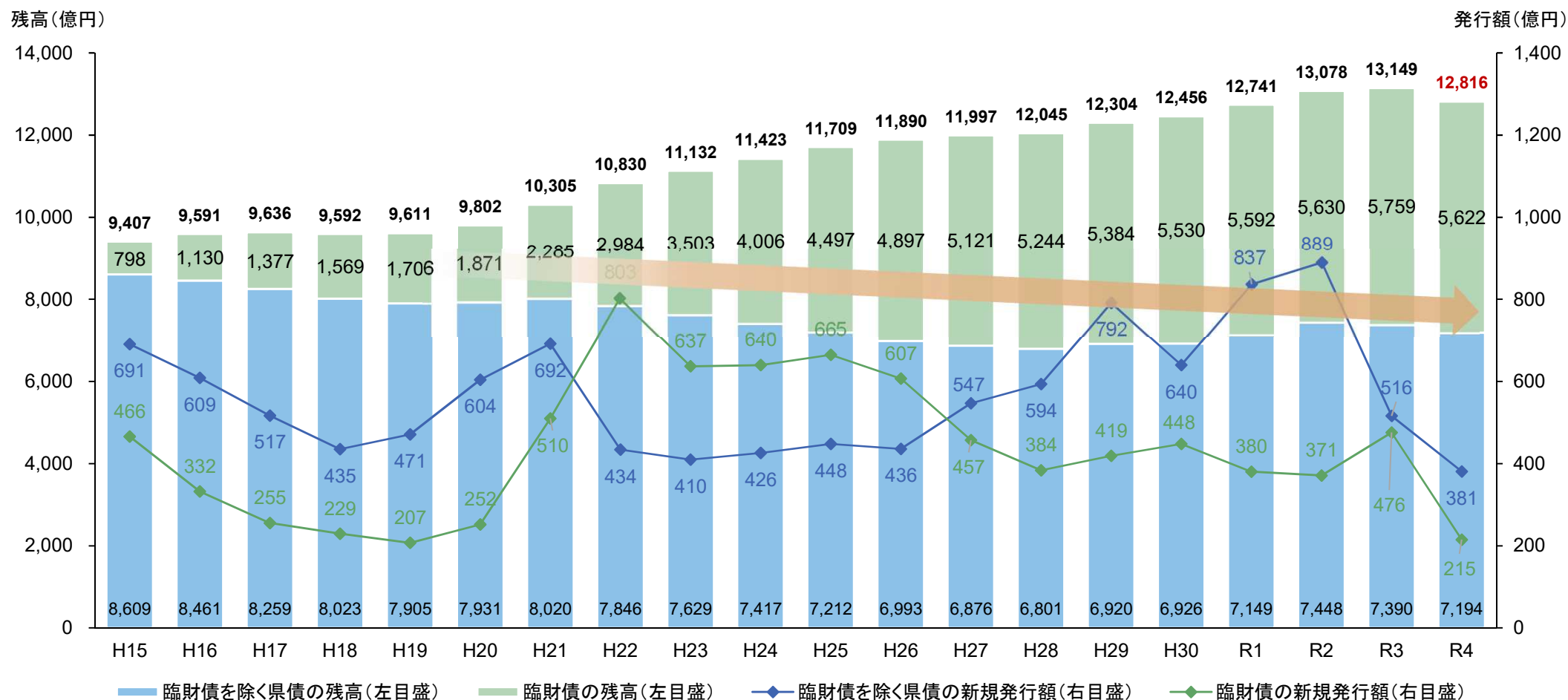


県債新規発行額と残高の推移



- 実質的な地方交付税である臨時財政対策債の発行により、県債残高は増加していたが、令和4年度は、臨時財政対策債の発行減や財源対策的な県債（退職手当債、行政改革推進債）を発行しないこと等により、減少する見込み
※全体の県債残高が縮小するのは、平成18年度決算以来、16年ぶり

普通会計ベース



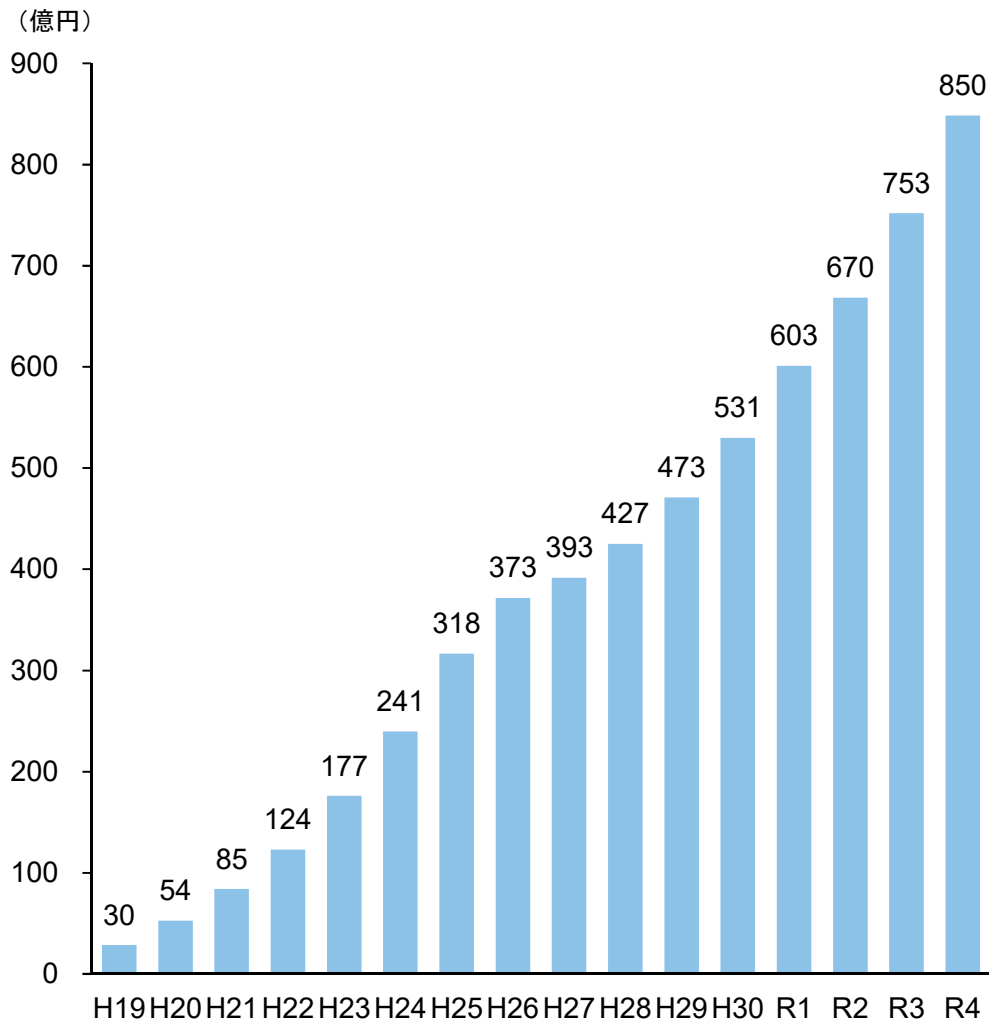
※ R3年度まで決算ベース、R4年度は当初予算ベース

減債基金への積立て・行政改革の取り組み



減債基金残高(年度末)の推移

- 県債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたる財政の健全な運営に資するため、「満期一括方式」による債券の償還財源について減債基金にルールどおり積立て



※: R3年度まで決算ベース、R4年度は当初予算ベース

行政改革の取り組み

- 人口減少と少子化・高齢化が進む社会において、新たな行政施策にしっかりと対応出来る体制をつくるため、「群馬県行政改革大綱(令和2~6年度)」に基づき改革を推進

「行政改革大綱実施計画」KPIの達成状況(R3)

DX等による新しい行政の確立

達成度74%

行政手続及びイベント申込の電子化数	975件
申請等手続の添付書類見直しの実施	67件
tsulunotos動画再生回数	6,288,187回 など

職員の能力を最大化できる働き方改革

達成度70%

電子決裁可能文書の電子決裁率	93.8%
業務プロセス改革に基づく省力化時間	30,894時間
管理職に占める女性職員の割合	17.6% など

災害などにも対応できる持続可能な財政基盤の構築

達成度81%

民間資金活用額(ネーミングライツ、ふるさと納税)	2億872万円
未利用地等売却額	3.8億円
県有施設のあり方見直し	10施設 など

Section 3.

主な財政指標の状況

- 財政健全化法に基づく各指標は、財政の健全性を維持
- 特に実質公債費比率と将来負担比率は、共に良好な水準を維持しており、市場公募発行団体（都道府県）中でも上位の位置付け



富岡製糸場

明治5年(1872年)に明治政府が日本の近代化のために設立した模範器械製糸場です。

「富岡製糸場と絹産業遺産群」として、周辺に点在する養蚕(ようさん)関連の文化財とあわせて、平成26年6月に世界遺産に登録されました。

財政健全化法に基づく財政指標の推移



■ 各指標ともに、財政の健全性において良好な水準を維持

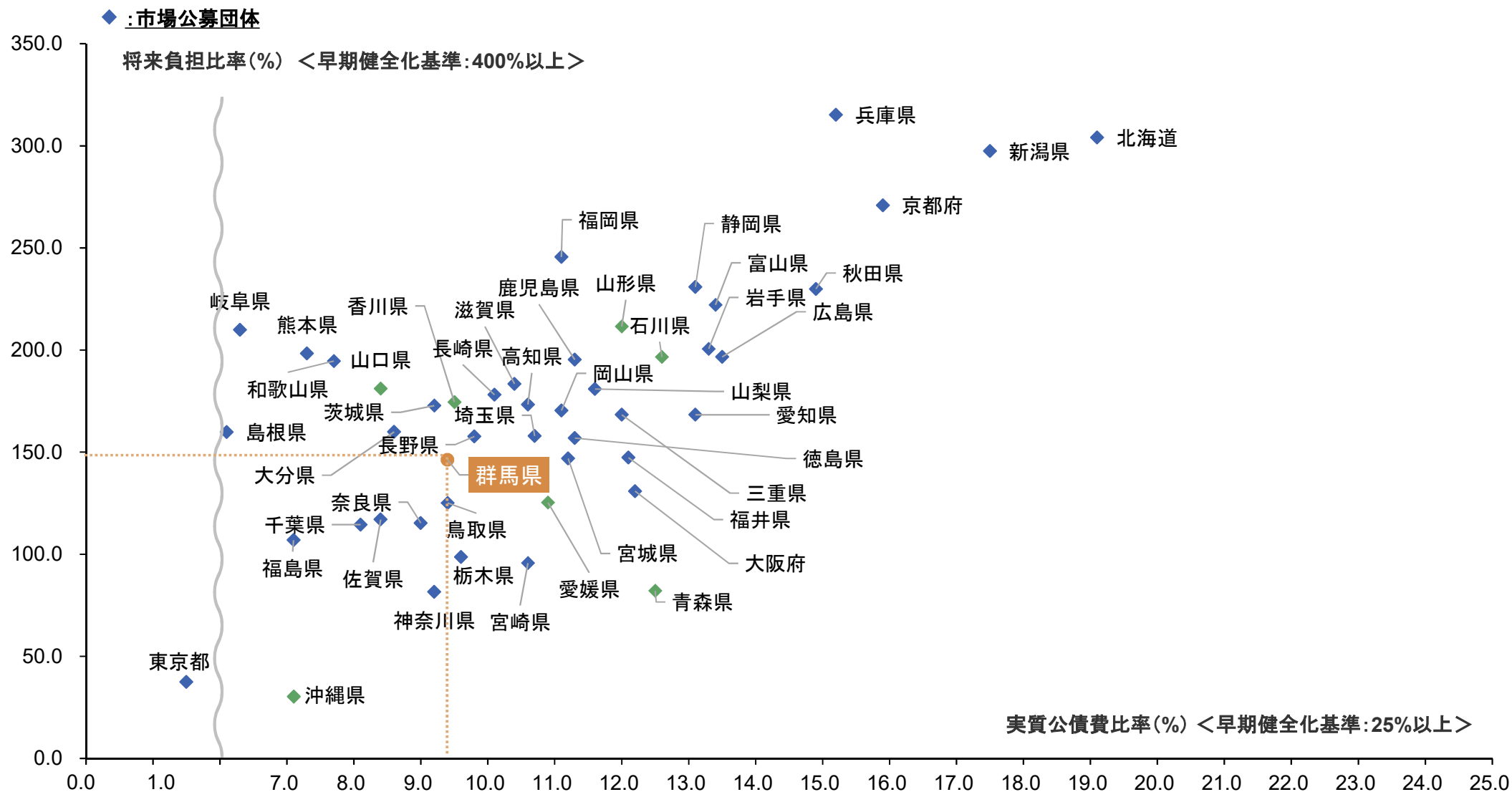
各指標の算定結果				
	R元年度	R2年度	R3年度	早期健全化基準
I. 実質赤字比率	該当なし (黒字0.94%)	該当なし (黒字3.71%)	該当なし (黒字4.87%)	3.75%
II. 連結実質赤字比率	該当なし (黒字20.46%)	該当なし (黒字22.83%)	該当なし (黒字23.54%)	8.75%
III. 実質公債費比率	10.6%	10.0%	9.4%	25%
全国順位	第19位	第19位	第15位	
全国平均	10.5%	10.2%	10.1%	
IV. 将来負担比率	165.4%	166.6%	146.2%	400%
全国順位	第15位	第16位	第14位	
全国平均	172.9%	171.3%	160.3%	

将来負担額の算定結果		
項目	金額 (億円)	算定内容
①地方債の現在高	13,907	満期一括償還分を含む地方債の残高
②債務負担行為に基づく支出予定額	10	土地改良事業負担金等
③公営企業の企業債償還への負担見込	204	流域下水道等
④組合等の借入償還に係る負担見込額	該当なし	
⑤退職手当の支給予定額	1,726	R3年度末に全職員が退職した場合の支給予定額
⑥設立法人の負債等に係る負担見込額	8	
うち群馬県住宅供給公社	1	
うち群馬県信用保証協会	6	
A 将来負担額計(①～⑥の計)	15,855	
B 充当可能基金	1,267	減債基金、財調基金等
C 充当可能特定財源	109	公営住宅使用料等
D 交付税算入見込額	8,571	
分子 A - (B + C + D)	5,908	

将来負担比率と実質公債費比率(令和3年度決算)



- 現在及び将来に対する財政健全度は、市場公募発行団体(都道府県)中でも上位の位置付け

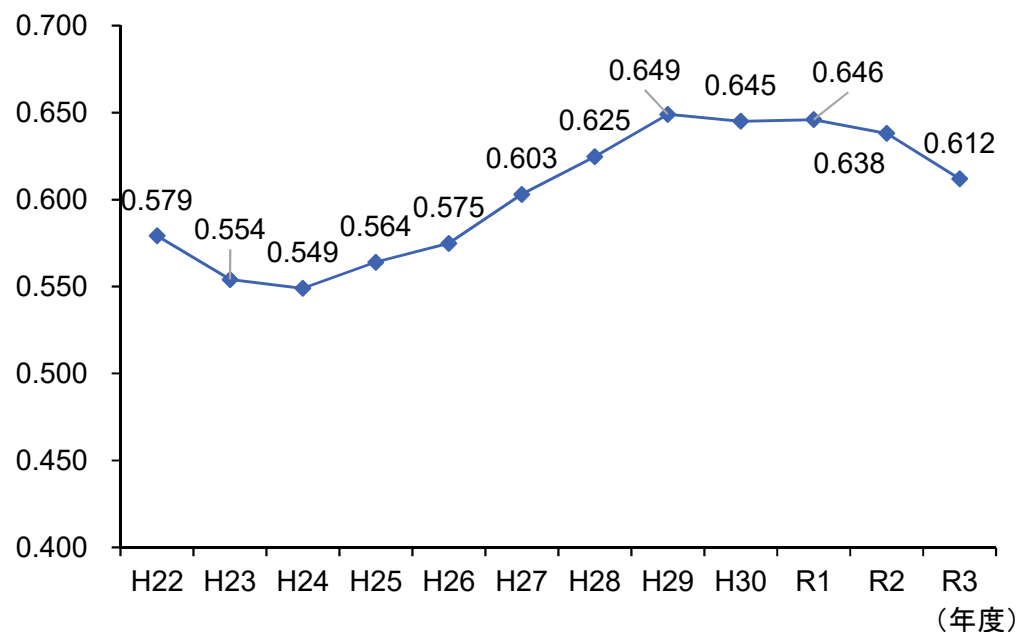


財政指標の推移



財政力指数

- 財政運営の自主性の大きさを示す指数で、財政運営に必要な一般財源のうち、自前で調達できる県税がどれくらい確保できるかという割合を理論的に求めたもの。



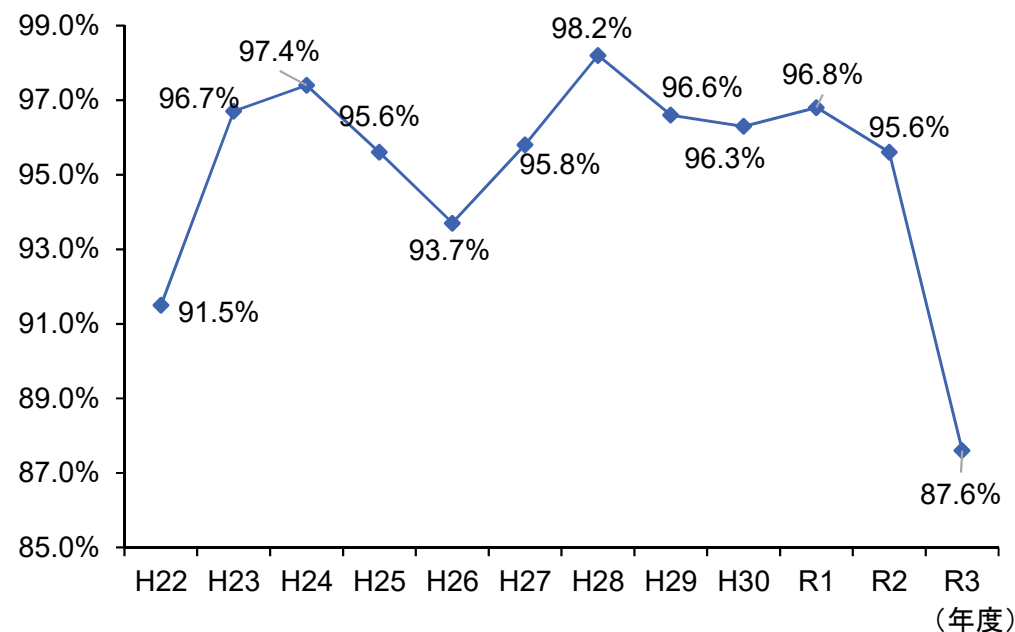
財政力指数

0.612

全国平均 R3 集計中(R2 : 0.523)

経常収支比率

- 「財政構造の弾力性」を判断するための指標で、地方税や地方交付税など経常的に収入される一般財源のうち、人件費や公債費などの経常的に支出する経費に充当された額の割合。



経常収支比率

87.6%

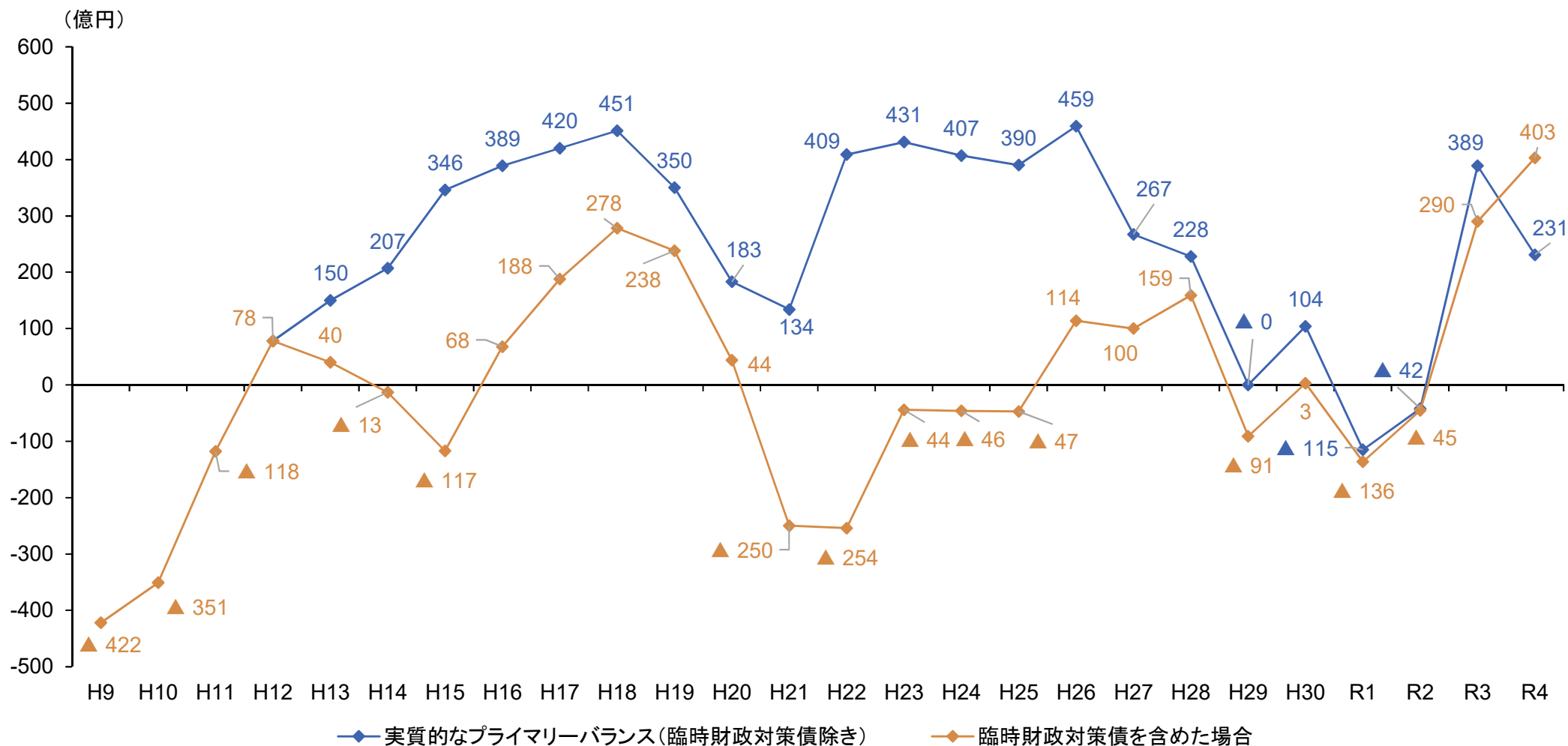
全国平均 R3 集計中(R2 : 94.4%)

プライマリーバランスの推移(決算ベース)



- R元、R2決算では、実質的なプライマリーバランス(臨時財政対策債除き)は、防災減災対策の集中実施やR元年東日本台風の災害復旧事業などにより、赤字となったが、R3年度決算、R4年度予算では財源対策的な県債を発行しないこと等により、黒字

一般会計ベース



※ R3年度まで決算ベース、R4年度は当初予算ベース

Section 4.

公営企業・地方公社等について

- 令和3年度決算では、すべての公営企業会計で資金不足はなく、財政健全化法に基づく経営健全化基準値(▲20%)をクリア
- 地方三公社(住宅供給公社、土地開発公社、道路公社)のうち「群馬県住宅供給公社」のみ存在。住宅供給公社の主な業務は、県営住宅管理業務であり、安定した経営



ぐんま県境稜線トレイル

群馬と新潟・長野の県境に位置し、稜線の長さでは国内最長(約100km)のロングトレイルを楽しむことができます。

公営企業会計の決算状況



- 全ての会計で資金不足はなく、財政健全化法に基づく経営健全化基準値(▲20%)をクリアしている
- 電気事業は、ハッ場発電所運転開始などにより2,271百万円(前年度+753百万円)の純利益となった
- 病院事業は、営業収益の増加のほか、新型コロナ患者の受入等に伴う関係補助金等により、営業外収益が増加した結果、1,188百万円の純利益となった
- 流域下水道事業は、R2年度から公営企業会計を適用し、2回目の決算

(百万円)

区分		電気	工業用水道	水道	団地造成	施設管理	病院	流域下水道	合計
損益計算書	営業収益(A)	8,605	1,594	4,469	4,645	735	23,900	3,508	47,456
	営業費用(B)	6,351	1,501	3,445	3,809	625	29,490	9,528	54,749
	営業損益(C=A-B)	2,254	93	1,024	836	110	▲ 5,589	▲ 6,021	▲ 7,293
	営業外収益(D)	96	294	337	4	8	7,456	6,499	14,694
	営業外費用(E)	78	122	306	1	1	679	303	1,490
	経常損益(F=C+D-E)	2,271	266	1,055	839	117	1,188	176	5,911
	特別利益(G)	0	113	1	0	11	1	8	134
	特別損失(H)	109	8	0	100	217	0	5	440
	純損益(I=F+G-H)	2,162	371	1,056	739	▲ 89	1,188	178	5,605
貸借対照表	資産の部	75,013	20,227	61,001	30,476	8,076	31,956	129,180	355,929
	固定資産	37,683	17,946	46,282	14,307	7,189	23,283	126,476	273,165
	流動資産	37,331	2,282	14,719	16,169	887	8,673	2,704	82,764
	負債の部	8,006	11,367	16,178	2,299	1,389	28,052	110,969	178,259
	固定負債	5,636	6,287	6,878	1,256	1,032	16,515	16,628	54,233
	流動負債	1,173	860	1,327	1,043	356	6,010	3,318	14,087
	繰延収益	1,197	4,220	7,972	0	1	5,526	91,023	109,940
	資本の部	67,007	8,860	44,823	28,177	6,687	3,904	18,211	177,669
	資本金等	59,397	5,227	37,818	26,992	5,693	10,434	8,913	154,474
	剰余金	7,610	3,633	7,005	1,185	994	▲ 6,530	9,298	23,195
財政健全化法上の資金不足額 (資金収支)		495	36,237	2,012	14,372	18,425	675	5,376	77,593

地方三公社の決算状況(住宅供給公社)



- 本県では、地方三公社(住宅供給公社、土地開発公社、道路公社)のうち「群馬県住宅供給公社」のみ存在
(土地開発公社は平成21年8月末で解散、道路公社はもともと設置していない)
- 群馬県住宅供給公社の主な業務は、県営住宅管理業務(維持管理、家賃収納業務を県から受託)であり、安定した経営を行っている

貸借対照表

(百万円)

区分		R元年度	R2年度	R3年度
資産	流動資産	2,105	2,063	2,331
	固定資産	6,031	5,922	5,775
	繰延資産	-	-	-
	資産合計	8,136	7,985	8,106
負債	流動負債	1,583	1,472	1,647
	固定負債	3,070	3,031	2,943
	特別法上の引当金等	-	-	-
	負債合計	4,653	4,503	4,503
資本	資本金	40	40	40
	剰余金	2,590	2,589	2,623
	法定準備金	853	853	853
	資本合計	3,483	3,482	3,516
負債・資本合計		8,136	7,985	8,106

損益計算書

(百万円)

区分		R元年度	R2年度	R3年度
経常損益	営業収益 (a)	2,976	3,037	3,165
	営業費用 (b)	2,883	2,947	3,061
	一般管理費 (c)	90	95	95
	営業利益 (d=a-b-c)	3	▲4	9
	営業外収益 (e)	49	43	41
	営業外費用 (f)	45	41	43
	経常利益 (g=d+e-f)	7	▲2	8
特別損益等	特別利益等 (h)	3	0	26
	特別損失 (i)	0	0	0
当期利益 (j=g+h-i)		10	▲2	34

出資法人の状況

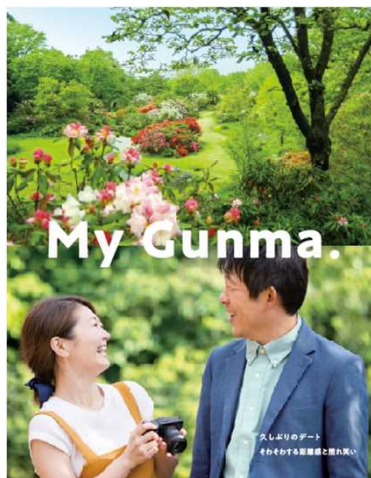


主な法人の経営状況(出資金・出えん金が5億円以上など)

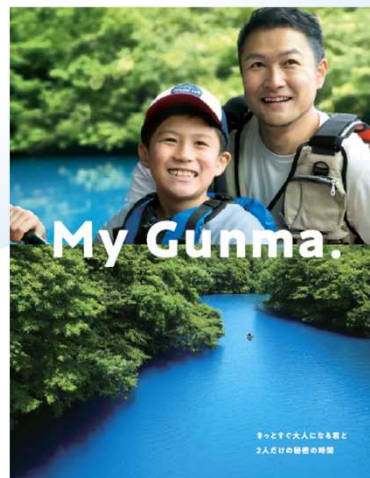
法人名	県出資等(千円)		当期損益(千円)		純資産又は正味財産(千円)
	県出資額	比率	R2年度	R3年度	
群馬県公立大学法人 (県立女子大学、県民健康科学大学)	1,500,515	100.0%	32,205	27,008	1,644,625
(公財)群馬県観光物産国際協会	864,000	88.7%	5,347	45,335	1,189,659
(公財)群馬県蚕糸振興協会	662,500	53.9%	74	27	1,216,045
(公財)群馬県産業支援機構	613,050	80.3%	12,543	5,060	1,119,868
(一財)群馬県森林・緑整備基金	580,000	100.0%	42,610	34,566	1,771,430
(公財)尾瀬保護財団	545,329	35.1%	▲70,142	11,309	1,619,579
(公財)群馬県暴力追放運動推進センター	512,275	82.1%	▲2,027	757	649,414
(公財)群馬県スポーツ協会	502,700	68.7%	20,751	4,808	1,106,567

Section 5.

市場公募債発行計画



赤城自然園
(渋川市)



四万湖
(中之条町)



天空のナイトクルージング
(みなかみ町)



宝徳寺
(桐生市)



草津温泉
(草津町)

令和4年度市場公募債発行計画

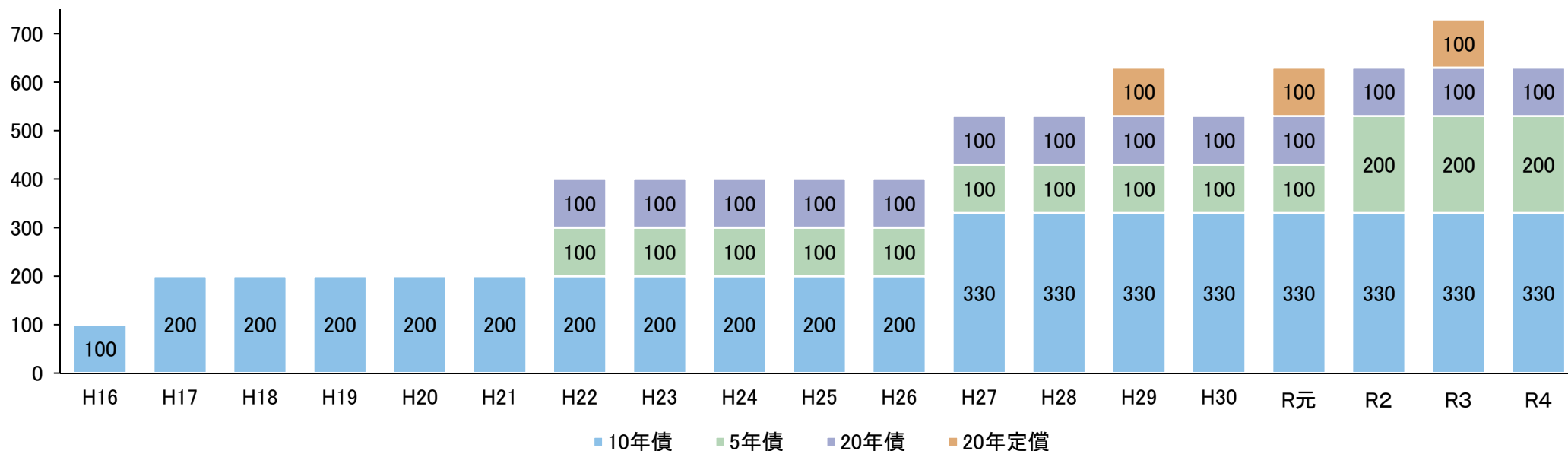


令和4年度市場公募債発行計画

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年債				130				100					230
10年債				130				200					330
20年債			100										100
合計			100	260				300					660

市場公募債発行額の推移

(億円)



群馬県の起債運営について



- 幅広い投資家の皆様に群馬県債を安心して購入いただくため、主幹事方式での起債を重視しております

主幹事方式による起債のコンセプト

- 低金利環境が長期化する中、投資家の皆様の利回り確保のニーズに応えるため、超長期債として20年満期一括債の発行を継続
※ 平成29年度、令和元年度、令和3年度は、調達額が例年に比べ増加したため、足許需要が拡大している20年定時償還債も発行
- また、10年満期一括債について、大口投資家の皆様のロット確保ニーズに応えられるよう、シ団方式に加え、主幹事方式でも起債
- さらに、令和2年度から5年満期一括債についても、シ団方式に加え主幹事方式でも起債

平成16年度

平成22年度

平成27年度

平成29年度

令和2年度

- シ団方式にて10年債を起債開始
⇒ 令和4年度で19回目になる予定

- 主幹事方式による20年満期一括債を起債開始
⇒ 令和4年度で13回目
- 10年債に加え、5年債もシ団方式にて起債開始

- 主幹事方式にて10年満期一括債を起債開始

- 主幹事方式にて20年定時償還債を起債（20年満期一括債と同時起債）

- 主幹事方式にて5年満期一括債を起債開始

Section 6.

県の概要、経済の状況

- 人口規模は約200万人で中堅クラス。発達した交通網、恵まれた自然条件、長い歴史で築かれた基盤技術などで、工場立地件数は全国トップクラス
- 本州のほぼ中央、首都東京から約100kmに位置しており、アクセスの便が良い
- 多彩で多様な農業が展開され、「首都圏の台所」と呼ばれる
- 温泉、自然、歴史遺産といった魅力あふれる観光資源が人々を惹きつける



尾瀬国立公園

名峰に囲まれた花咲き乱れる日本最大の山岳湿地として全国に名を知られる国立公園です。

群馬県の人口と強い経済



■ 工場立地件数は常に全国トップクラスであり、強い経済が特徴

恵まれた立地環境、利便性の高さ、自然条件から、多くの企業が群馬県に進出しています。



工場立地件数

49件

全国 第4位

(令和3年)

		H27年		H28年		H29年		H30年		R元年		R2年		R3年
1位	茨城県	84	静岡県	74	静岡県	97	愛知県	77	愛知県	80	茨城県	65	愛知県	60
2位	兵庫県	73	愛知県	67	群馬県	62	群馬県	69	静岡県	78	愛知県	60	茨城県	51
3位	群馬県	57	群馬県	56	兵庫県	59	茨城県	68	茨城県	66	静岡県	54	岐阜県	50
4位	静岡県	55	兵庫県	56	愛知県	51	静岡県	67	群馬県	59	群馬県	52	群馬県	49
5位	愛知県	52	宮城県	48	茨城県	46	兵庫県	56	岐阜県	53	岐阜県	46	静岡県	49

※製造業、ガス業、熱供給業及び電気業(水力・地熱・太陽光発電所は除く)

人口



192.7万人

全国 第18位

(令和3年10月1日)

生産年齢人口比率



58.0%

全国 第15位

(令和3年10月1日)

移住希望地ランキング



全国 第5位

(2021年)

1人当たり県民所得



3,298千円

全国 第8位

(令和元年度)

製造品出荷額等



8兆9819億円

全国 第12位

(令和元年)

農業産出額



2,463億円

全国 第14位

(令和2年)

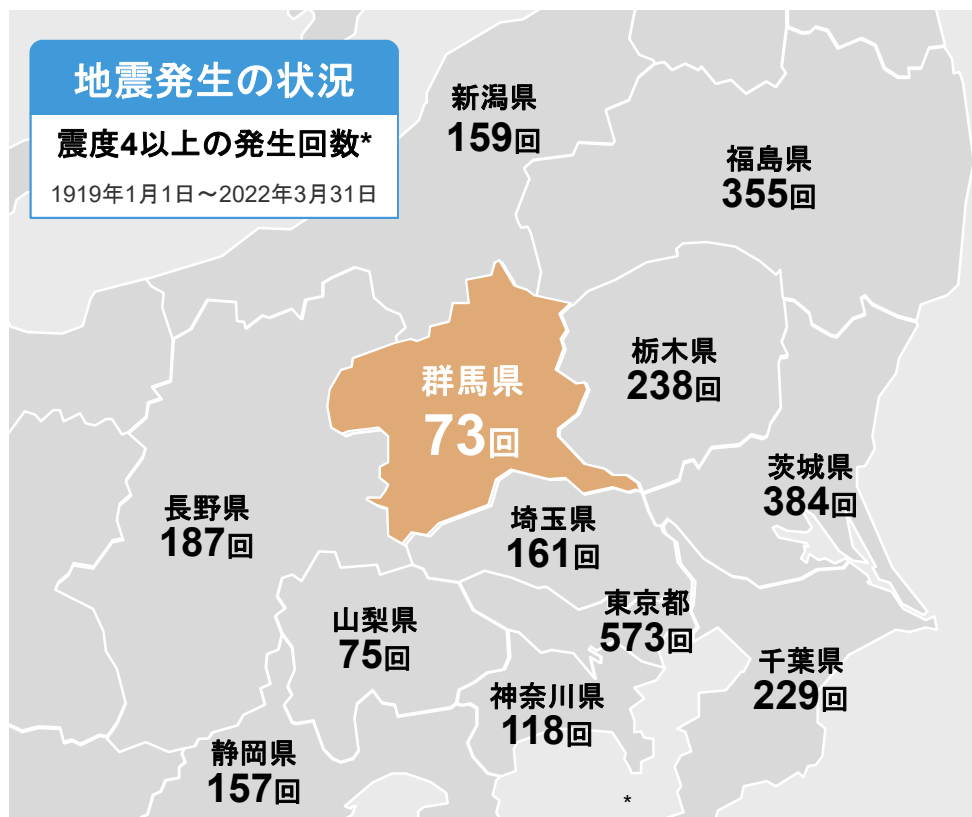
群馬県の恵まれた自然条件



- 関東一、地震が少ない
- 日照時間、年間快晴日数が全国で上位に位置するなど恵まれた気象条件を有している

地震災害のリスク

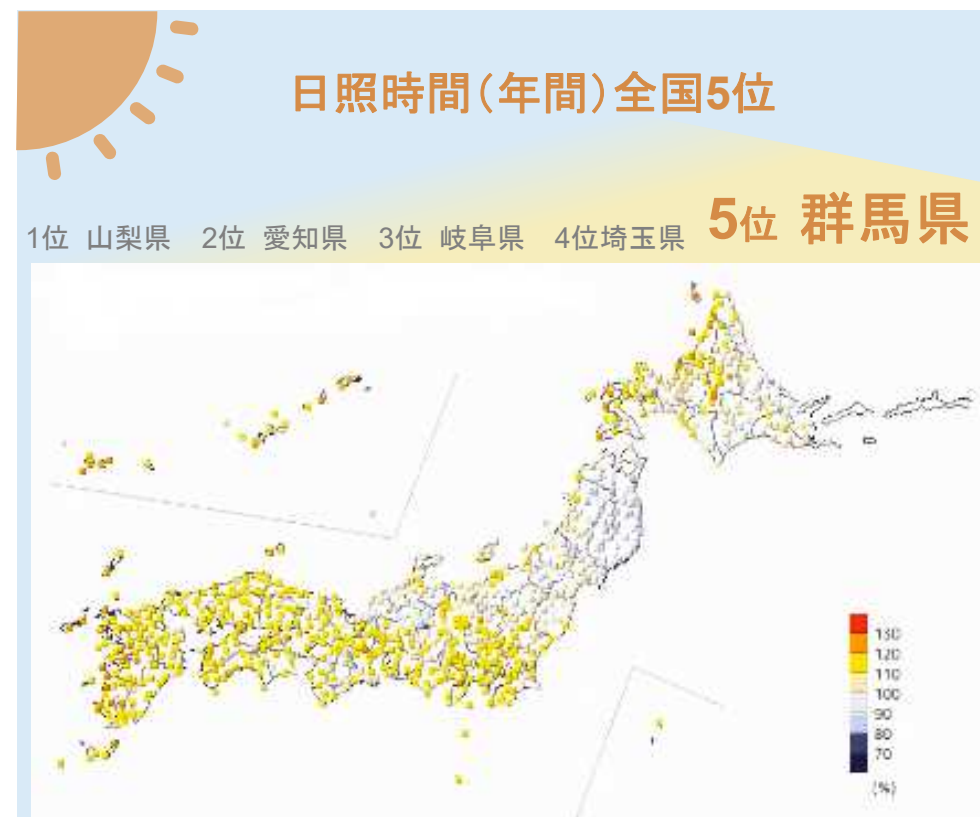
- 群馬県は、統計上、地震が比較的少なく、工場や物流拠点施設をはじめとする様々な産業施設の立地に有利な条件を備えています。



*: 気象庁「地震データベース」を基に作成

恵まれた日照時間

- 群馬県は、年間の日照時間の長さが全国第5位と上位に位置しています。降雪量も平野部では比較的少なく、恵まれた気象条件を有しています。



出典: 気象庁ホームページ

東北～九州、太平洋～日本海を結ぶ交通の結節点

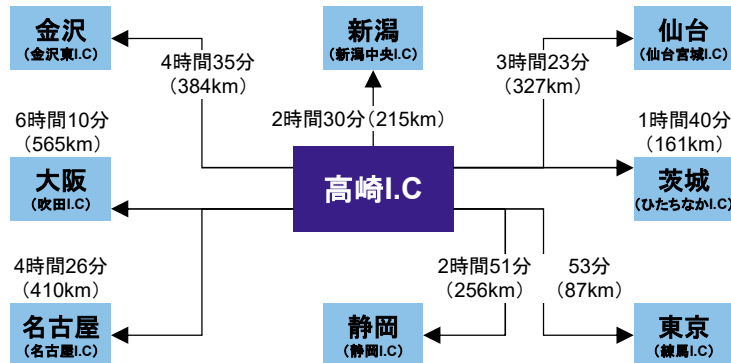


- 本州のほぼ中央、首都東京から約100kmに位置しており、アクセスが良いのが群馬県の魅力



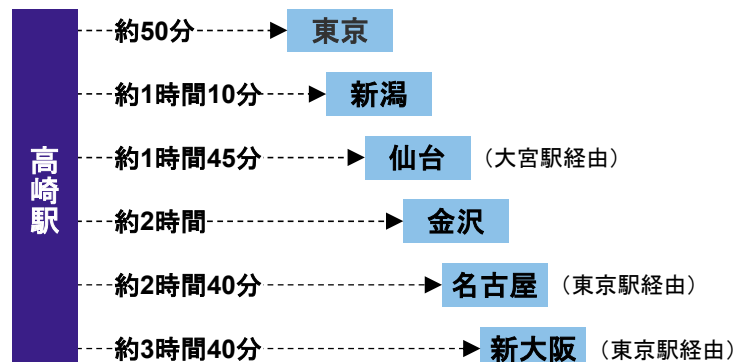
- 関越、上信越、北関東、東北自動車道により、東日本と西日本、太平洋側と日本海側を結ぶ高速交通網が整備されています。

高速道路利用



- 上越新幹線と北陸新幹線が走っており、鉄道交通の結節点である高崎駅を中心に各方面へのアクセスが便利です。

新幹線利用

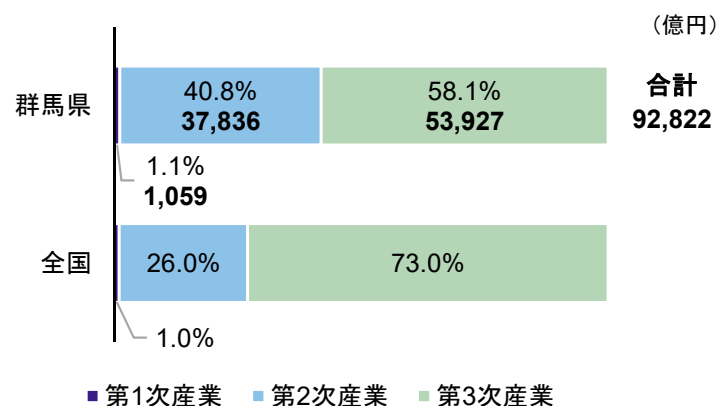


群馬県の産業構造



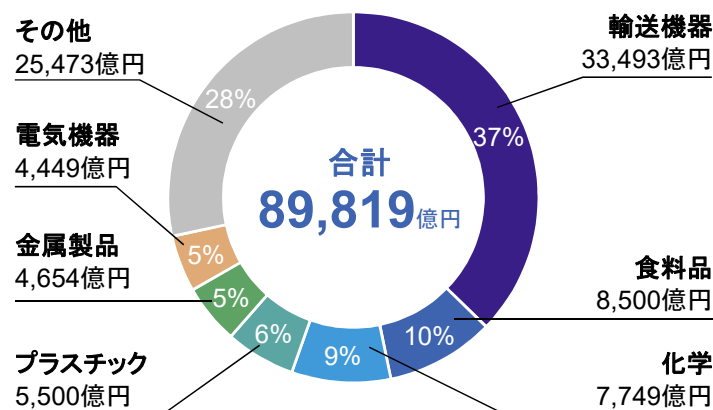
- 発達した交通網、安定した気候、自然災害の少なさ、長い歴史で築かれた基盤技術などで、ものづくり産業が発展
- 豊富な水資源や首都圏に位置するなど有利な立地条件を活かし、「首都圏の台所」として、多彩で多様な農業が展開

産業別名目県内(国内)総生産



出典：群馬県県民経済計算(R元年度)
及び内閣府国民経済計算(R元暦年)

製造品出荷額等



出典：2020年工業統計(確報)

主な県内立地企業

業種	企業名
輸送機器	SUBARU 日本発条
	日野自動車 マレリ
	ミツバ
食料品	山崎製パン 高梨乳業
	高崎森永 ダノンジャパン
	ブルドックソース 日本ケロッグ
化学	信越化学工業 協和キリン
	関東電化工業
業務用機器	キヤノン電子 サンデン
飲料・飼料	明治 ポッカサッポロフーズ
	サントリー ド&ビバレッジ

農業生産量全国順位(令和元年)

順位	品目	生産量	占有率
1位	こんにゃくいも	50,200t	93%
	えだまめ	7,190t	11%
	繭	28t	35%
2位	キャベツ	256,500t	18%
	きゅうり	55,800t	10%
	ふき	1,150t	13%
	うめ	5,190t	7%
	ほうれんそう	22,400t	10%
3位	なす	27,700t	9%
	レタス	54,800t	10%
	はくさい	30,600t	3%
4位	しゅんぎく	2,420t	9%
	生しいたけ	4,123t	6%

出典：R2年農林水産統計

製造品出荷額等全国1位の製品(令和元年)

製品	出荷額
乗用車ボデー(東亜工業、エイチワン、矢島工業 など)	793億円
コーヒー飲料(AGF関東、UCC上島珈琲など)	373億円
金融用端末装置(沖電気工業、岡部工業など)	360億円
豆腐(相模屋食料、マック食品 など)	290億円

出典：2020年工業統計(確報)

群馬県の魅力あふれる観光資源



■ コロナ禍と「癒やし」へのニーズ、東京への距離感、豊富な地域資源… 群馬を“リトリートの聖地に”

人気が高い群馬県ブランドの温泉

- 群馬県の温泉は泉質も施設も種類が豊富です
- 全国的にも人気が高く、群馬県の観光の目玉として抜群の集客力を誇り、大きな経済効果をもたらしています

第35回にっぽん温泉100選

総合ランキング(抜粋)

総合順位	温泉地名	所在地
1	草津	群馬県
2	下呂	岐阜県
3	別府八湯	大分県
4	道後	愛媛県
5	箱根	神奈川県
15	伊香保	群馬県
27	万座	群馬県
43	四万	群馬県
51	みなかみ18湯	群馬県



草津温泉



伊香保温泉



水上温泉

出典: (株)観光経済新聞社

みんなで選ぶ 第13回温泉大賞

温泉番付 東(抜粋)

総合順位	温泉地名	所在地
横綱	草津	群馬県
大関	箱根	神奈川県
関脇	登別	北海道
前頭	伊香保	群馬県
前頭	万座	群馬県
前頭	四万	群馬県
前頭	水上	群馬県

出典: BIGLOBEによるサイト上でのWebアンケート調査(アンケート期間は2021年3月23日～2021年5月21日)



群馬県の自然

- 群馬県は山林が県土の約3分の2を占め、豊かな自然にあふれています
- 県内では川、滝、湖沼、湧水など、さまざまな水の形に出会うことができます。山々は古く『万葉集』にも詠みこまれ、深田久弥著の『日本百名山』では県内から11の山が選ばれています
- また、日本を代表する美しい風景と貴重な生態系を有する尾瀬は、全域が国立公園の特別地域であり、その核心部は特別保護地区として、国の特別天然記念物に指定されています



尾瀬



赤城山



わたらせ
溪谷鉄道

妙義山

群馬県の歴史遺産



富岡製糸場



天神山古墳

富岡製糸場は、明治5(1872)年に日本初の官営器械製糸工場として設立されました。平成26年に、世界遺産に登録されるとともに、国宝にもなりました

古墳時代、ヤマト政権の東国支配の拠点として繁栄していた上毛野。群馬県には1万基以上の古墳があるといわれており、古墳の数は全国で有数。太田市「天神山古墳」は、全長210mで、東日本で最大の前方後円墳



本件に関するお問い合わせ先

群馬県総務部財政課県債係

〒 371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1

TEL 027-226-2096

FAX 027-224-9123

E-mail marketbond@pref.gunma.lg.jp

HPアドレス <http://www.pref.gunma.jp/>



- 本資料は投資家向けに情報提供するものであり、投資に関する売買等の取引を提案、勧誘、助言するものではありません。
- 本資料に掲載している情報は、修正される場合があります。
- 本資料内のデータは、信頼できるとされる各種データに基づき作成しておりますが、正確性、完全性を保証するものではありません。